

工場抵當法案特別委員會會議事速記録第一號

明治三十八年二月十五日(水曜日)午後零時四十八分開會

○委員長(子爵岡部長職君) 是ヨリ委員會ヲ開キマス

○富井政章君 前會ニハ少シ大ニ修正ニ關係ヲ持ツテ居マスカラ暫ク後ト同シニ致シマシテ初カラ細カク點ニ付テ極ク簡單ニ伺ヒマス、御答モ極ク簡單ニ宜シウゴザイマス、此第一條ニ工場ノ目的トナル仕事ヲ列舉シテアリマスガ、是デ確ニ實際ノ種目ヲ網羅シテ是カラ先キ困ルト云フヤウナコトハ決シテ生ジナイト云フ御確信ガアルノゴザイマスガ、ソレヲ伺ヒマス、ソレカラ第二工場所ヲ云フテアリマスガ、此場所ト云フ言葉ハドレダケノモノヲ含ムノデアルカ、其内容ヲ伺ヒタイ、ソレカラ第二條ニ於キマシテハ是ハ民法第三百七十條ト殆ド同一ノ文章デアルト解シマス、然ルニ「民法第三百七十條ヲ準用ス」ト簡單ニ書カレナカッタ所以ハ、及其ノ土地ニ備附ケタル機械「云々」ト云フ一句ガアルカラデアラウト思ヒマスガ、果シテサウ解シテ宜シイノデアリマセウカ、同條ニ付テ伺ヒタイコトハ「機械器具其ノ他ノ物」ト云フ言葉ニ「備附ケタル」ト云フ言葉ガ掛テ居ルト解スルノデアリマス、「備附ケタル」ト云フ言葉ハ無論、機械ダケニ掛カルノデナイ、器具其他ノ物ニモ掛カルノデアルガ、ソレニシテモ「備附ケタル」ト云フダケダハ何ダカ少シ廣過ギルヤウナ心持ガスルノデアリマスガ、是ハ無論工業用ノ物ニ限ルト云フ御主意デアラウト思ヒマスガ、諸君ニ於テ是デ充分明瞭デアルト云フ御考ナラバ私ハ少シモ異存ハアリマセヌガ、唯「備附ケタル」ト云ヘバ直接ニ工業用ト見ルベカラザル物ヲモ含ムヤウニ見エラシメスナ、例ヘバ時計ガ柱ニ掛テ居ル、無論此中ニアルト思フノデスガ、ソレハ無論第二項ノ方行クノデスガ、要スルニ此備附ケタルト云フダケハ少シ廣過ギハセヌカ、何カマア工業ニ用井ルト云フヤウナ方面カラ今少シ制限ヲ附ケタ方宜クハナイノデセウカ、こつぱ煙草盆ナドハ「備附ケタル」ト云ヘバ又ノデセウケレドモ澤山這入ル物ガ出來ヤウト思フ、ソレハマア矢張り登記ニ依テ效力ヲ持ツ、私ハ登記スレバ其效力ハ充分ニ強クシタイノデアルケレドモ、物ノ方ハ餘リ廣クシタクナイノデアリマス、ソレデ此「備付ケタル」ト云フ言葉ハ是デ充分ニ括リガ付クノデアリマセウカ、殊ニ工業用ノ物ニ限ルト云フコトガ十分ニ現レテ居ルト云フ御見解デアリマセウカ、先ヅソレダケヲ伺ヒタイ

○政府委員(河村讓三郎君) 第一條ノ工場ノ種類ヲ列記イタシマシタノハ、是デ總テヲ網羅スルコトガ出來マス考デ居リマス、場所ト申シマスノハ工場ニ使用シマスル土地建物一切ノ物ヲ概括的ニ場所ト稱シマシタモノデアリマス

○富井政章君 動産ハ含マナイノデスネ

○政府委員(河村讓三郎君) 動産ハ場所ノ中ニハ含ミマセヌ積リデアリマス、第二條「其ノ土地ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物」マデハ民法三百七十條ノ中ニ包含セラレテ居リマス事柄デアリマス、特ニ此所ニ掲ゲマシタノハ工場ノ土地建物ニ附加シテ一體ヲ成シタル物ニ付キマシテハ、本法ノ中ニ別ニ掲ゲマス方適用上便宜デアアル、且ツ第三條以下ニ附屬物ニ關スル規定ヲ掲ゲマスコトヲ必要ト認メマシテ、其呼出シノ爲ニモ

特ニ書キマシタ方明瞭デアラウト考ヘマシタ、「備附ケタル」ト申ス言葉ハ如何ニモ少シ物足ラヌ所ガアリマスルデゴザイマスガ、此趣意ハ御説ノ通りニ工業ニ使用スル爲ニ備附ケタル機械器具ト、其他ノ物ニモ矢張り掛カデ讀ミマスル趣意デアリマス、チヨット何ト言ヒマスカ、工業用ト書キマスガ、言葉ガ少シ適當ノ言葉ヲ認メマセヌデ條文ガ大分錯雜イタシマシタ、之ヲ明ニスルコトハ勿論望ムコトデアリマス、是ダケデアリマシタカナ

○小松原英太郎君 チヨット質問ヲ致シタイ、第一條ノ二項デゴザイマスガ「營業ノ爲電氣又ハ瓦斯ノ供給ノ目的ニ使用スル場所、此「場所」ハ例ヘバ水力電氣ナドヲ利用スル場合ハ、大分遠方カラ水ヲ引イテ來ル其水路ト云フガ如キモノハ總テ此場所ノ内ニ包含スルノデアリマスガ

○政府委員(河村讓三郎君) 其水路ガ所有者ノ所有ニ屬シテ居リマスル場合ニハ矢張り含ミマセウト思ヒマス

○政府委員(河村讓三郎君) 農商務省ノ方デ調査ニナツテ居リマスル工場要覽ト云フモノガゴザイマス、其中ニ各種ノ工場ガ列記シテアリマス、多分明文ヲ置キマセヌケレバ其範圍ノモノガ工場トナルデアラウト思ヒマス、ソレヲ包括シマシテ斯ウ云フ風ニ書キマシタ方ガ正確デハナイカト考ヘマシタノデ第二項ヲ斯様ニシテアリマス

○名村泰藏君 私ハ能ク分リマセヌカラ伺ヒマスガ、此二條ノ「其ノ土地ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物」ト云フ此「物」ト云フハ工場ニアル物デアラナラバ機械器具ト、工場ニ必要ナル所ノ物ガ之ト一體トナルベキモノデアラウト思ヒマスガ、三ツニ書分ケデアリマス、此上ノ「一體ヲ成シタル物」ト云フハ如何ナル物ヲ指シテ云フカ、ソレカラ下ノ「其ノ他ノ物ニシテ自己ノ所有ニ屬スルモノ」是ナドハ煙草盆トカ或ハ其工場ニ餘リ必要ノナイモノデアル物ヲ指シタノデアルカ、ドンナモノデアルカ、此「モノ」ト云フハ能ク分リマセヌカラ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(河村讓三郎君) 「土地ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物」ト申シマスルノハ、例ヘバ瓦斯會社ノ瓦斯ヲ製シマスル鑛ノヤウナ物デアリマス、是ハ土地ノ方ニ取付ケデアリマス、其外ニ機械器具ニ限リマセヌ總テ土地ニ取付ケマシタ煉瓦ノ塀ノヤウナ物モアリマス、ソレカラ「其他ノ物」ト申シマスノハ機械器具トモ名付ケラレマセヌヤウナ物デ矢張り此工場ノ目的ニ必要ナル物ガアリマセウト思ヒマス、例ヘバばいぶノヤウナ物、第十一條ニ「配置諸管」ト書キマシタガ斯ウ云フヤウナ物モアリマセウカト思ヒマス

○委員長(子爵岡部長職君) チヨット小松原サンニ願ヒマス

(委員長子爵岡部長職君退席)

○小松原英太郎君 チヨット政府委員ノ御方ニ質問イタシマスガ、第一條ノ第二號ノ

場合デゴザイマスナ、此水力電氣ナド利用スル場合ニ發電所ト云フモノハ大變離レテ居ル、ソレヲ此空中ヲ引イテ來テ居ル、空中ト云ヒマスルノハ詰リ電柱ヲ建テ電線ヲ引イテ來テ居ルノデアリマス、サウ云フ場合ニ其土地ハ官有地デアル、或ハ他ノ個人ノ所有地デアル、サウ云フ場合ニ其電柱トカ電線ト云フモノハ是ハ含マナイノデゴザイマセウカ、或ハ土地ニ定設シテアル物デアデ不動產ノ中ニ含ンダモノト見ルコトニナリマス、ドウ云フコトニナリマス、チヨット御尋シマス

○政府委員(河村讓三郎君) 電柱電線ノ如キ物ハ發電所ト一體ヲ成シタ物カ、或ハ發電所ニ備付ケタ物カ、ドチラカニナリマセウト思ヒマス

○小松原英太郎君 發電所ハ數里ノ外ニアデ、ソレカラズツ引イテ來ルノデス、例ヘバ函根ニ發電所ガアデ東京ニマデ引イテ來タ、其途中ニアル柱ノ線ハドウナリマス、カ

○政府委員(河村讓三郎君) ソレハ矢張り此發電所ト云フモノガ目的ニ使用スル場所ニナラウト思ヒマス、ソレガ元デアリマス、ソレニ附屬スルモノト看做ス積リデアリマス

○富井政章君 尙ホ續イテ、先ノ條ニ付テ小サナ事ヲ質問イタシタト思ヒマス、第五條ニ付テハ尙ホ大ニ研究シタト思ヒマス、是ハ先デ暫ク飛バシテ置キマス、第六條ノ第三項ニ「工場ノ所有者カ抵當權者ノ爲メ差押假差押又ハ假處分アル前ニ於テ正當ナル事由ニ因リ」云々トアリマス、是ハ少シク分リニクイノデアリマス、是ハ斯ウ云フコトニ解シマス、カ、抵當權者ニ依ッテ差押假差押又ハ假處分ヲ受クル前ニ於テ云フ意味デ、即チ是等ノ實行處分ヲ抵當權者ガ爲メ差押假差押又ハ假處分アル前ニ於テ云フ意味デ、即チ假差押、假處分ノ前ニ於テ云フコトハ分リニクイノデアリマス、ソレカラ第七條ノ差押、假差押又ハ假處分ハ是ハ抵當權者ガ抵當權ノ實行トシテヤッタノハ無論、他ノ債權者ガヤッタ場合モ見タ規定デアルカ、サウ見テ宜イノデアリマス、ソレカラ第八條ノ第二項ニ「他ノ財團」ト云フ言葉ガアリマス、此ノ他ノ財團ト云フノハ極メテ汎イ意味ニ解シテ宜イノデアリマス、即チ工場財團ニハ限ラナイノデアリマス

○政府委員(河村讓三郎君) 第六條第七條ノ御質問ハ御意見ノ通りデゴザイマス、第八條ノ「他ノ財團」ト云フノハ他ノ工場財團ト云フ意味デアリマス

○富井政章君 成ルホド、ソレデハ工場以外ノ財團ニハ屬スルコトハ妨ゲナイノデゴザイマス、ドウ云フ結果ニナルカ知レマセウガ……

○政府委員(河村讓三郎君) 此他ノ財團ト申シマスルト即チ鐵道財團ノ如キモノ、其鐵道財團ナドニ屬シマス、ハソレハ妨ゲマセウ、一ノ不動產トシテ見マシテ鐵道財團ノ法ニ極メラレマス、差支ナイ積リデゴザイマス

○山脇玄君 第十一條ノ四號ニ付テ伺ヒマス、是ハ工場財團ニナルモノ、分子ヲ掲ゲタモノデアリマス、茲ニ「水ノ使用權」ト云フコトガアリマス、此水ノ使用權ト云フモノハ餘ホド曖昧ナモノ、殊ニ此水車ニカ、ル水或ハ灌漑ニ使フ場合、色々地方ニ依ッテ水ヲ使用スル例ガ澤山ニアリマス、是等モ水ノ使用ト云フコトハ重モニ地方長官ノ許可ヲ得テ或ハ一定ノ時間、或ハ時間ヲ付ケズニ使用スルト云フヤウチコトニナッテ居ルモノデアリマス、是ハ使用權者カラ見ルト云フコト隨分權利ト云フコトガ云ヘマセウガ、マア極ク效力ノ弱イ權ト云ヘナイコトハ無カラウト思ヒマス、サウ云フヤウナモノモ矢張り此

財團ノ一分子ト爲スコトガ出來マス、サウデナクテ今日ノ使用權ト云フモノハ何カ他ノ事由ニ因ッテ其使用スル者ノ確乎タル權利アルモノヲ云フノデアリマス、其邊ヲ伺ッテ置キマス

○政府委員(河村讓三郎君) 是ハ土地收用法ニ依リマシテ使用權ヲ得マシタ場合ノ權利ヲ舉ゲマシタモノデゴザイマス、土地收用法ニ掲ゲテゴザイマス中ニモ此場合ニ權利ト稱シ得ルヤ否ヤト云フコトハ隨分疑問デアラウト考ヘマス、殊ニハ工場ガ土地收用法ニ依ッテ使用權ヲ得ルト云フコトハ電氣瓦斯ノ工場グラ井止マルグラウト思ヒマス、其他ニハアリマス、マイト思ヒマス、是ハ他ノ抵當法案トノ權衡上、入レマシタニ過ギマセウ

○富井政章君 私モ第十一條ニ付テ二三伺ヒタイ、第一ニハ第一號ノ所ニ「工作所」云々トアリマス、此法律案ト同時ニ提出ニナリマシタ鑛業抵當法案ヲ見マス、第二條ニ本條ト同様ノ規定ガアリマス、ソレニハ單ニ工作物トシテアリマス、即チ工場トアッタノガ正誤ガ廻ッテ工作物ト云フコトニナリマシタ、本案ニハ「工作所、事務所、倉庫、倉庫其ノ他ノ建設物」ト種々ナモノガ並ベデアリマス、是ハ鑛業抵當法案ニ所謂工作物トハ範圍ガ違フノデアリマス、若シモ同ジ意味デアラナラバドチラカ一ツニシテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ第三號ニ「土地及地上權」トアリマス、是ハ申スマデモナク自分ノ土地即チ自分ノ土地ノ所有權並他人ノ土地ノ上ニ持ッテ居ル地上權ノコトデアラウト思ヒマス、爲メニ、ソレカラ第四號デゴザイマス、唯今山脇君カラ御問ノアリマシタ「土地又ハ水ノ使用權」此使用權ト云フモノノ性質範圍ハ私ハ原文ヲ讀ンデモ解ラナク、水ノ使用權ト云フモノハ地役權トシテモアリマス、民法ノ第二百八十五條ニ依ッテソレハ明カデアリマス、ソレカラ又債權トシテモ有リ得ルコト考ヘマス、ソレデハバドレダケノモノヲ云フノデアルカ一向分ラナイ、唯今御説明ニ依レバ土地收用法ニアル一種ノ使用權デアルト云フコトデアリマス、果シテ然ラバ地役權又ハ債權トシテ存スル所ノモノハ含マナイ御趣意ト解セラル、ノデスガ、果シテサウデアレバ實質上ノ當否ハ別問題トシテ其主意ヲ明ニセバ餘ホド分リニクイデアラウト考ヘマス、其點ヲ伺ヒタイ、ソレカラ今一ツ伺ヒタイコトハ第八號ノ「工業所有權」ト云フ言葉デアリマス、是ハ今日マデ工業所有權ト云フコトガ用語ニナッテ居ルノデアリマス、定メテ農商務省ニ於テハ明ニ極ッテ居ルコトデアラウト思ヒマス、同ヒタイ、所有權ト云フコトハ御承知ノ通り民法ニ於テハ有體物ニナッテ居ルコトデアルカ、無形ノモノニ用井ルコトハ混淆ヲ來スコトデアリマス、成ルベク避ケタイト云フ希望ヲ持ッテ居ルノデアリマス、併シ財團ナドニ付テハ他ニ優ッテ言葉モアリマセウ、原案ニ承服スル積リデアリマス、工業ニ付テハ用井ズニ濟ムコトナラバ、殊ニ斯ク言ハナイコトガ今日マデノ用例デアラナラバ、改メタ方ガ宜カラウト思ヒマス、例ヘバ鑛業抵當法ニ據レバ鑛山ニ關シテハ鑛業權ト云フコトモアリマス、工業權ト云フデハ如何デアリマセウカ、萬國工業權保護同盟條約ト云フコトヲ言ウテ居ルト思ヒマス、確カニハ覺エマセウガ……佛語デ言ヘバぶるぶりにて、あんなぢやと云フノデアリマス、此處ハドウシテモ工業所有權ト云フハオナナラマデセウカ、用例ヲ伺ヒタイ

○政府委員(河村讓三郎君) 第一號ハ内容ニ於キマシテハ鑛業抵當法第二條ノ第五ト同一ニナラウト思ヒマス、書キ方ハ鐵道抵當法ノ第三條ノ書キ方ニ成ルベク近寄ッ

タノデアリマス、第三號ハ主意ハ全ク御説ノ通りデアリマス、第四號ノ地役權ニナリマス
水ノ使用權ハ第十六條ノ第二項ニ依テ財團トナリマス積リデアリマス、債權ニ屬スル水
ノ使用權ハ入レマセヌ積リデアリマス、第六ハ全クぶろふりにて、あんぢゆすとり
にるトナリマス意味デアリマス、是ハ委シクハ調ベテ居リマセヌガ、條約ガアリマシテ此言
葉ガアッデ使ッデアルト云フコトデアリマス、尙ホ農商務省ノ政府委員モ出テ居ラレマスカ
ラ……

○男爵吉川重吉君 先刻富井君カラ御質問ニナリマシタ第八條ノ第二項デアリマス、
工場財團ニ屬スルモノハ同時ニ他ノ財團ニ屬スルコトハ出來ナイ、ケレドモ他ノ種類ノ
財團ニハ屬シテモ宜シイ、例ヘバ鐵道財團ノ如キニハ屬シテモ宜シイト云フ御答ノヤウニ
承知シマシタガ、此鐵道抵當法ナドヲ見マスト若シ「數箇ノ債權ヲ擔保スル爲同一ノ鐵
道財團ニ付抵當權ヲ設定シタルトキ」ナドト云フコトガアリマシテ、同シモノニ付數箇ノ
債權ガアッデキハ其抵當權ノ順位ハドウナルト云フコトガ定メテアルヤウニ見エマス、若
シモノノ物が工場財團ニ屬シテ抵當ニ這入り、同物が鐵道財團ニ屬シテ抵當ニ這入ッ
タトキハ、ドウ云フコトニナリマセウカ

○政府委員(河村讓三郎君) 御尤ノ御尋デアリマス、私が先刻御答ヘシタコトガ少
シ不充分デアリマシタカモ知レマセヌ、私ハ此ノ「他ノ財團ニ屬スルコトヲ得ス」ト書キマシ
タノハ、他ノ工場財團ニ屬スルモノ云フ主意デアアルコトヲ御答ヘシタデアリマス、鐵道財
團ニ屬シ得ラレヤ否ヤハ此處デハ極メテ申ス外アリマセヌ、鐵道財團ノ規定ニ依リ
マスト他ノ物權ノ目的ニナッテ居ルモノハ財團ニ組入レルコトハ出來ヌト云フコトニナッ
テ居ルト思ヒマス、サウスルト工場財團ハ一ノ抵當權ノ目的ニナッテ居ルデアリマスカラ、
其方ノ故障ノ事實上、入ルコトハ出來ヌトニナラウト思ヒマス、本案ハ唯他ノ工場ノ財
團ニ入レヌト云フコトダケ申シデアリマス

○馬屋原彰君 工場ノ所有者ト云フコトガ數條ニアリマスガ、所有者ノコトニ關シテチ
ョット御尋シテ置キタイ、此法案ニ於テ抵當ヲ許サレル所ノ工場ノ持主ハ會社法人ガ持
主デアル場合ト私人一己ノ所有シテ居ル場合ト二ツニナルヤウデアリマスガ、會社法人
ガ社債ヲ起スト云フ場合ニ臨ミマシテハ、其會社ノ工場ヲ擔保シテ信託會社ニ委任ス
ルト云フコトガ出來ル譯デ、至極便利ノコトデアリマスガ、却テ一私人ノ場合、一私
人ノ所有シテ居ル所ノ工場ト云フモノハ之ヲ抵當トシテ其營業上ニ必要ナル負債ヲ起
サントスル場合ニ臨ンデ信託法ニ依リマスト云フコト、社債ヲ發行スル會社ニ限ルト云フ
ノデアリマシテ、信託會社ニ委任スルコトガ出來ナイノデアアル、サウ致シマスト云フコト、一
私人ノ營業上ノ爲ニハ甚ダ不便ヲ感ズルヤウニ思ヒマセヌガ、此點ニ付キマシテハ政府
委員ニ於テドウ云フ御考デアリマスカ、承ッテ置キタイ思ヒマス

○政府委員(河村讓三郎君) チョット失禮デゴザイマスガ、不便ト申シマスノハ信託
會社ニ取ッテ此債務ヲ起スコトガ出來ナイノガ不便デアルト云フノデアリマスカ、或ハ一
私人ガ工場財團ヲ作ルト云フノガ不都合デアルト云フノデアリマスカ

○馬屋原彰君 其前ニ御聽キノ通り固ヨリ社債デハナイ、社債ヲ起スコトハ出來ナイ、
併ナガラ折角此便利ナル工場抵當ト云フモノガ出來ル以上ハデス、是モ矢張り抵當ニ
就テハ會社ガ信託會社ニ依頼スルト云フ手續ニヤラシタ方が便利デアアルマイカト云フ

點カラ御尋スルデアリマス

○政府委員(河村讓三郎君) 其點ハ信託事業ノ範圍ニ關シマスト思ヒマス、今回
政府カラ提出イタシマシタノハ社債ヲ募リマスト場合ニ、擔保ヲ供スルコトガ出來マセヌ
社債デアリマスカラ、債權者モ見テ居リマストシ、將來ノ債權ノ事モアリマスカラ擔保ニ
供スルコトガ出來マセヌ、其不便ヲ防グ爲ニ社債ニ限ッテ信託ヲスルコトガ出來ルト云フ
趣意デアリマス、社債デアリマセヌ、普通ノ債務デアリマス、直グニ債務ガ成立シマシテ、
信託事業ニ及ボスカト云フコトハ是ハ信託事業ノ範圍ノ問題デアラウト思ヒマスカラ、本
案ニ依ッテソレヲ如何トモスルコトハ出來マセヌ

○馬屋原彰君 サウシマスト、詰リ此工場抵當法案ト云フ中ニ就キマシテ、會社デナイ
一私人ノ工場ト云フモノガ澤山アルデアリマセウカ、ソレ等ハ所謂其業務ノ爲ニ負債ヲ
起サウト云フ場合ニ臨ミマシテ信託會社ニ向ケテハ負債ハ起サレヌト云フコトニナルデス
ナ

○政府委員(河村讓三郎君) 信託會社ニ依ラズトモ債務ガ起サレルト云フコトヲ申
シテ置カウト思ヒマス、信託會社ニ依リマセヌデモ、普通ノ手續ニ依テ債務ヲ起スニ差
支アリマセヌト思ヒマス

○馬屋原彰君 ソレハサウデアリマセウカ、信託會社ニハ當然信託スルコトハ出來ヌト
云フコトデアリマスカ

○政府委員(河村讓三郎君) 左様デアリマス

○富井政章君 續イテ第十三條及十四條ニ付テ少シ伺ヒタイデアリマス、第十三
條ハ五條ト密接ノ關係ヲ持ッテ居ル規定ト思ヒマス、此條ノ規定ニ關シテハ、抵當權ノ
效力ニ關シテハ大ニ研究ヲ要スル點ガアラウト思ヒマス、唯今研究シツ、アルノデアリマシ
テ、其結果或ハ修正意見ヲ提出スルヤウナコトニナルカモ知レマセヌカラ、ソレハ唯今述ベ
マセヌ、唯文字ニ付テ少シ伺ヒテ置キタイ、「他人ニ屬スル物權若ハ貸借ノ目的タルモ
ノ」トアル、十二條第一項ニモ第二項ニモアル、十四條ニモアル、物權ト貸借ト云フ
コトガ竝ンデ居ル、權利ト法律行為トガ竝ンデ居ル、是ヲ例ヘバ貸借權ト御書キニナラ
ナンド譯ハ使用借權ヲモ含マスト云フ御趣意デアラウト思ヒマスガ、果シテサウデアリマ
スカ、即チ他人カラ報酬ヲ拂ハズシテ借リテ居ルト云フ場合ヲモ見タノデアリマスカ、果シテ
サウデアリマスカ、ソレカラ此二箇條ニハ「モノ」假名デ書イテ「物」ト書イテナイ、是ハ有體
質ニ限ラナイ、例ヘバ權利質ト云フモノ又ハ地上權、永小作權ヲ目的トスル抵當權ト
云フモノモアル、サウ云フ權利ヲモ必要デアルカラ斯ノ如ク書イタノデアリマスカ、果シテサウ
デアリマスカ、ソレカラ是ハ少シ實質ニ關シタ大問題デアリマスガ、第十三條第二項第
十四條第二項トニ關聯シテ居リマス工場財團其モノ又ハ工場財團ニ屬スルモノハ貸貸
スルコトヲ得ザイト云フコトニナルデアラウト思ヒマスガ、是ハ或ル場合ニ於テハ不便デハ
アリマスマイカ、長期ニ互ル賃貸借ハ或ハ許スコトガ出來ナイカモ知レマセヌガ、少クモ短
期ノ賃貸ハ許サネバ不便ナ場合ガ多クアリハシマスマイカ、工場其モノニ付テハ今申シタ
ヤウナ必要ヲ感ズルコトガ屢アラウカト考ヘルノデアリマス、其點ハドウシテモ許セナイト
云フ御趣意デアリマスカ

○政府委員(河村讓三郎君) 貸借竝ニ「モノ」ノ意味ハ全ク御説ノ通りデアリマス、

工場財團ニ屬スルモノ又ハ工場財團其モノヲ貸借ノ目的トスルコトハ出來ヌト致シマシ
タノハ一應述ベマシタガ、二百九十五條ノ規定ガアリマス爲ニ財團ヲ競賣セムトシマシ
モ競落人ガ無イト云フヤウナ結果ニナリハシマスマイカ、短期ノ貸借權ハ抵當權者ガ對
抗ガ出來ルト云フコトニナリマス、抵當權者ガ競賣ニ出シマシテモ其貸借權ハ
消エヌト云フコトニナリマス、競落人ハサウ云フ負擔ノ附イタ不動產ヲ買受クルコトハ
望マヌト云フコトニナリマス、是ハ實際ニ不便ヲ訴フル所デアリマスカラ特ニソレヲ禁ズルト
云フ趣意デアリマシタ

○富井政章君 ソレマデノ期間ヲ許スト云フコトハドウ云フコトデ……

○政府委員(河村讓三郎君) 長期ノ貸借ハ抵當權者ニハ對抗ガ出來ルカト思ヒ
マス、二百九十五條ニ第六百一十一條ニ定メタル期間ヲ超エサル貸借ハ抵當權ノ登記
後ニ登記シタルモノト雖モ之ヲ以テ抵當權者ニ對抗スルコトヲ得「トアリマス

○富井政章君 私ハ民法ノ二百九十五條ニ付テ疑フタノデアリマス、本案ニ於テ
競落ノ場合ニハ消滅スルト云フコトニナリマス、ソレマデノ間ナリトモ貸借スルコト
ヲ得ルト云フコトニナリマス、方ガ便利デアリマセウカ

○政府委員(森田茂吉君) 此工場ノ作業ノ關係カラ行キマスル工場ノ發達若クハ
完全ナル經營ト云フコトヲ目的トセバナリマス、ソコデ詰リ工場抵當法案ノ趣意ハ
工場ガ適當ナル方法ニ依ッテ運轉資本ニナリ若クハ工場ノ經營ノ上ニ完全ナル利益ヲ
得ヤウト云フコトガ工場抵當法案ノ目的デアリマス、ソコデ自ラ此工場ヲ抵當ニ入レテ資
金ヲ共有シテ經營シヤウト云フ念慮ガ第一ニアリマス、又ソレニ依ッテ資金ノ運轉モ付
クデアラウ、斯ウ思ヒマス、一旦財團ニ組入レテ抵當權者ニ提供シテ居ルモノヲ、ソレヲ
自ラ經營セズシテ他人ニ貸借スルト云フヤウナ事柄ハ工場ノ完全ナル經營ノ上カラハ
避ケタイト思ヒマス、殊ニ此抵當權者ニシマシテモ、無論有體物ニ依ッテ、機械トカ器
具トカ其他ノモノニ依ッテ價ノ高低ハ極メセウケレドモ、此人ガ經營スレバ是ダケノ資
金ヲ運轉シテヤラウ、斯ウ云フヤウナ觀念デ金ヲ融通スルコトモアラウト思ヒマス、デアリ
マスカラ工場ト云フモノノ完全ナル發達カラ行キマスルコト寧ロ貸借ト云フヤウナモノヲシ
ナイ方ガ立法ノ精神ニ合ヒハシナイガ、斯ウ思ヒマス

○小松原英太郎君 チョット今ノ廉ニ付テ御尋フシテ見タイデスガ、此貸借……債權
者ガ承知シテ貸借スルコトニ付テ異議ハ無イノミナラズ債權者ガ或ハ此貸借ニ因ッテ
他ノ者ガ工場經營ヲシタ方ガ工場ノ整理上ニ便利デアル、斯ウ云フヤウナ考ヲ生ズルヤ
ウナ場合ガアリハシナイカト思ヒマス、例ヘバ此整理ノ良クナイ工場デアル、ソレニ必要ガ
起ッテ財團トシテ金ヲ借りタ、色々債權者トハ整理ヲ希望スルケレドモ、ドウモ整理シナ
イ、或ハ之ヲ他ノ者ニ貸シテ他ノ者ニ經營サシタ方ガ大ニ整理ガ付ク、斯ウ云フヤウナ
見込ノアルトキニハ債權者ハ好シテ他ノ者ニ貸シテ之ヲ經營サス方ガ便利デアルカモ知レ
マセヌ、或ハ債權者ガ承諾スルナラバ貸借ハ許シテモ宜イト云フヤウナコトニシテモ格別
弊害ハ無カラウカノヤウニモ考ヘマスガ、立法者ノ御意見ハドウデアリマセウカ

○政府委員(河村讓三郎君) 至極御尤ノ御意見ニ思ヒマス、但シ借受クル人ガアリ

マスデゴザイマセウカ、一ツ立法者ハ考ヘナケレバナラス、借受ケテ置キマシテモ抵當權者
ガ權利ヲ實行シテ居リマス、貸借權ガナクナルト云フコトニナリマス、安ジテ借ラヌト云
フコトニナリハシマセウカ、其點ヲ立法者ハ考ヘナケレバナラス

○富井政章君 唯今小松原君ガ述べラレタコトニ私モ贊成ヲ表スルノデゴザイマス、私
ノ趣意モサウデアッタノデ、必シモ抵當權者ノ意ニ反シテ出來ルヤウニシタイト云フコト
デハナイ、ソレハ餘ホド考ヘモノデアラウト思ヒマス、恰モ第八條ニ抵當權者ノ同意ヲ得
テ分離ガ出來ルト云フヤウナ風ニ、抵當權者ガ同意シタ場合タケデ宜シイ、極メテ便
利デアラウト思フ、サウシテ抵當權者ハ損害ヲ生ジマイト思フ、競落人ガ無イカモ知ラヌ
ト云フ御懸念ガアリマスガ、其懸念ガアルナラバ抵當權者ハ同意ヲシナイデアラウト思フ、
同意シタコトデアルカラ差支ナカラウ、其不便ニ較ベレバ著シイ便利ガアルト認メテ同意
シタノデアリマセウカラ差支ナカラウト思フノデス、サウシテ競落人ト云フモノハ必シモ他人
ニ限ルコトハ無イ、抵當權者ニ於テ適當ト認ムルモノガ競落人ニナルト云フコトニ仕向ケ
ル途モアリマセウシ、或ハ自分自ラナルコトモ出來ルノデアラウト思フ、ソレデ要スルニ「抵
當權者ノ同意ヲ得テ」ト云フコトニナリマス、多少不便ハアッデモ其利益ハ著シカラウト
思フノデスガ、如何デセウ

○政府委員(河村讓三郎君) 御尤デゴザイマス、尙サウ云フ風ニ改メマスニ付テハ篤
ト攷究イタシタ上ニ致シタイト思ヒマス

○小松原英太郎君 チョット私ハ附加ヘテ、モウ少シ御尋ネ申上ゲデ置キマスガ、或ハ
競落人ガナカラウカト云フ御心配デゴザイマスガ、私が御尋シタ場合デアルト寧ロ債權者
ノ方デ此者ニ託シテ經營ヲサレタナラバ工場ガ整理スルデアラウ、斯ウ云フヤウナ、強制強
競ヲ執行スル前ニ、ソコマデマダ行ク場合デナイガ、斯ウシタ整理ガ付クデアラウ、斯ウ云
フ債權者ノ利益ノ方カラ貸借サシタ方ガ工場ノ整理ノ爲ニ便利デアラウ、斯ウ云フ場
合ガ起リハシナイカト思フノデス

○男爵吉川重吉君 此十三條ノ「所有權以外」ト云フノハドウ云フ意味デスカ

○政府委員(河村讓三郎君) 十四條デゴザイマスガ

○男爵吉川重吉君 十三條ノ第二項デゴザイマス

○政府委員(河村讓三郎君) 所有權ヲ除ク外ハ總テノ物權ト云フ意味デゴザイマス

○男爵吉川重吉君 ソレナラバ色々質權デアルトカ、サウ云フヤウナ權ト云フ意味デス
カ

○政府委員(河村讓三郎君) 左様デゴザイマス

○男爵吉川重吉君 尙十四條ニ付テモ伺ヒタイノデスガ、是ハ鐵道抵當法ト比較
致シテ、少シ疑フ起シマシタノデゴザイマスガ、鐵道抵當法ノ第四條ニ殆ド同ジ規定ガ
アル、其鐵道抵當法ニハ「鐵道財團ハ所有權及抵當權以外ノ物權又ハ差押、假差押
若ハ假處分ノ目的タルコトヲ得ス」ト書イデゴザイマスガ、此差押、假差押、假處分ト云
フコトガコチラニ省イデゴザイマス、ソレハドウ云フ譯デア御省キナッタノデゴザイマセウカ

○富井政章君 ソレニ牽連シテ伺ヒタイト思ヒマスガ、吉川男爵ニ御異存ガ無ケレバ同

時ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、物權及賃借權ト書ケバ誠ニ同シ性質ノモノガ揃フテ句調ガ宜イノミナラス、使用借權ノコトハウタハナクテモ宜イノデハナイカト思フ、使用借權ハ債權アリマス、賃借權ハ登記シテアレバ物權ト同一ノ效力ヲ生ズルト云フコトガ民法六百五條ニ規定シテアリマスカラ、明言スル必要アリマスガ、使用借權ハ債權デアッテ抵當權ニ對シテ貸スコトノ出來ヌ性質ノモノデアリマス、財團ニ屬シテ居タ所ガ抵當權者ニ損害ヲ及ボス性質ノモノデアナイ、ソレヲ書キ現ハス必要ハ無イト思ヒマスガ、同ジ牽連シタ間デアリマスカラ伺ヒマス

○政府委員(河村讓三郎君) 第十四條第二項ニ依リマスルト、差押ノ目的トスルコトガ出來ル、鐵道財團ノ方ハ差押ノ目的ト爲スコトガ出來ナイヤウニナッテ居リマス、其區別ハ鐵道財團ハ公益上ノ關係カラ致シマシテ、他ノ債權者ガ之ヲ差押ヘテ競賣ニ付スルト云フコトハ禁ズル方ガ宜カラウト云フ主意デ、工場財團ニナリマスルト左ホド強イコトヲ置ク程ノ公益上ノ關係ヲ認メマセヌカラ拔キマシタノデゴザイマス、ソレカラ物權貸借ト文字ノ揃ヒマセヌコトハ使用貸借ヲ許シテ置イテモ差支ナイト云フコトハ少シ了解イタシ兼ネマスガ、工場財團ニ屬シテ居リマス一ツノ建物ナリ或ハ動産ナリラ期限ヲ定メテ使用貸借ニ……其間ニ工場財團ヲ競賣ニデモシマスコトニナリマス、使用貸借權ガ其儘ニ存シテ參リマスデス、工場財團ニ屬シテ居ル一ツノモノハ名ノ付イタモノガ加ハッテ行ク、成ルベクソレヲ避ケタイト云フ考デアリマス、實際ハ餘リ多クサウ云フ例ハ無イト思ヒマス、此點ニナリマス、賃借權ト使用貸借トノ間ニ法律上ノ區別ガ無イカト思ヒマス

○富井政章君 私ハ違フタ考ヲ持ッテ居ルノデス、使用借權ハ債權デアリマスカラ、抵當權者ニ對抗スルコトヲ得ナイト信ズルノデアリマス、ソレ故ニ競賣ノ場合ニ使用借主ガ損害ヲ被ッタト云フコトニナルノデアリマスカラ、使用貸主即チ抵當權設定者ニ對シテ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ル止メテ抵當權者ニ損害ヲ及ボサナイト云フ考デアリマス、其點ハ詰リ意見ヲ異ニスルコトデアルカモ知レマセヌカラ強ヒテ述ベマセヌ、ソレカラ序デニ第十七條ニ付テ伺ヒマス、是ハ此條ノ書キ方ニ付テノ質問デアリマス、是ハ丁寧ニ二項ニ分ケテ書イテアリマスガ、斯ウ書イテモ濟ムノデアリマセヌカ、「不動産登記法第八條ノ規定ハ工場財團ノ登記ニ之ヲ準用ス」詰リ第一項ニ書イタルコトハ不動産登記法ノ第八條一項ニ該當スルモノデアル、第二項モ同條ニ該當スルモノデアルカラ準用デ分ル心持モ致スノデアリマスガ、サウデナイデセウカ、ソレカラ今一ツハ是モ簡單ナコトデアリマスカラ序デニ伺ッテ置キマスガ、第二十二條ノ第二項「申請人ノ之署名、捺印スヘシ」トアル、此署名ト云フ言葉ハ自署ノ意味デアリマスガ、代書デモ宜イト云フ意味デアリマスカ、多分代書デモ宜イト云フ御主意デアラウカト察スルノデアリマスガ、私モ署名ト云フ言葉ハ必シモ自署ヲ云フト言フコトニ付テハ大ニ疑ヒニナッテ居ルノデアリマスガ、併シ商法實施後ニ出タ特別法ニモ商法ニ度ノ掲ゲタル、署名ト云フコトハ自署ヲ意味スルト云フ見解ヲ取ッテ商法ニ署名トアル場合ハ記名及ビ捺印ヲ以テ之ニ代ウルコトヲ得ト云フコトニナッテ、先キニ此委員會ニ於テ我々が議シマシタ彼ノ信託法案モ其見解ヲ採用

シタモノト認メマス、即チ信託法ノ第一百十二條ニ本法ニ依リ署名スヘキ場合ト云フハ記名捺印ヲ以テ署名ニ代フルコトヲ得タル、是ハ詰リ商法及其後ニ出タ商法ニ對スル特別法ニ同ジ筆法デ署名ト云フハ自署ヲ云フコトヲ前提トシテ、サウシテ代署捺印ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、果シテサウデアレバ文例ノ揃フ方ガ誤解ヲ防グヤウデ宜クハナイノデアリマセヌカ、此點ヲ伺ヒマス

○政府委員(河村讓三郎君) 前ノコトハ十七條デスカ

○富井政章君 十七條デアリマス

○政府委員(河村讓三郎君) 是ハ或第八條ノ準用ダケデモ宜シイカモ存ジマセヌガ、第八條ノ方ニハ土地所在地ト建物所在地ト云フコトニナッテ居リマス、工場ト申シマスノハ少シ廣イ意味ニ掛リマスカラ特ニ書キマシタ方ガ明瞭デアラウト思ヒマシタニ過ギナイノデアリマス、記名捺印ノ文字ハ登記法ノ文例ヲ採リマシタノデアリマス、尙ホ文例ニ付キマシテハ篤ト考ヘマス

○富井政章君 御主意ハ自署タルヲ要セナイト云フコトデアリマスガ

○政府委員(河村讓三郎君) 左様デス、現行登記法ト同ジ適用ニナリマス

○男爵吉川重吉君 少シ廻リマシテ第九條第十條ノ所デアリマス、第九條ニ據リマスレバ、此工場財團ト云フモノハ所有權保存ノ登記ニ依ッテ成立ツモノ、ソレカラ又登記ノ後一箇月内ニ抵當權ノ設定ノ無イ時ハ其效力ヲ失フト云フコトガ十條ニ定メタル、要スルニ此工場財團ト云フモノハ抵當權ヲ目的トシテ成立ッテ居ルモノノ様ニ思ハレルノデアリマス、所デ此鐵道ノ方デ見マスレバ鐵道財團ハ抵當權ノ消滅ニ依ッテ消滅スルト云フコトガ規定シテゴザイマスガ、コチラニハサウ云フコトハチヨット見當リマセヌ様デゴザイマス、若シ抵當權ガ消滅シタ時ニハドウ云フコトニナリマスノデアリマスガ

○政府委員(河村讓三郎君) 第四十八條ハ御了解ニナリマセヌデセウカ

○男爵吉川重吉君 私ハ少シ希望ヲ述ベタイト思ヒマスガ、チヨット速記ヲ御止メテ……

○委員長(子爵岡部長職君) ソレデハ速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(子爵岡部長職君) 本日ハ段々諸君ヨリ御質問モ出、政府委員ノ答辯モアリマシテゴザイマスガ、唯今速記ヲ止メテ居ル間ニ吉川男爵ヨリ御希望ヲ述ベラレタ結果、本日ハ是デ散會イタシ、政府ノ方ノ御調ベヲ願フコトニ致シタイト存ジマス、明日ハ午前十時ヨリ開會ヲ致シマス、今日ハ是デ散會

午後二時二十分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵岡部 長職君

委員 子爵新莊 直陳君

小松原英太郎君

名村 泰藏君

山脇 玄君

男爵吉川 重吉君

平山 成信君

貴族院工場抵當法案特別委員會議事速記第二號

明治三十八年二月十五日

一

男爵藤大路親春君 馬屋原 彰君 富井 政章君

國務大臣 司法大臣 波多野敬直君

政府委員 司法省民刑局長 河村讓三郎君 農商務省商工局長 森田 茂吉君

貴族院擔保附社債信託法案特別委員會議事速記錄第五號正誤

頁	段	行	誤
三〇	上	一	例へバ
			即チ
			正